

小林 敬

嘱託講師

研 究 業 績

2024年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	『宗教を問う、宗教は問う -コルモスの歴史と現代-』 氣多雅子、島藺進、金澤豊、小林敬 [編]、法蔵館 担当編集箇所：「第一部 コルモス 50 年の歩み」（19-203 頁） 担当執筆箇所：「現代における宗教の役割研究会（コルモス）」設立の経緯と 50 年のあゆみ」（21-42 頁）	2023 年 12 月
論文（単）	「初期シモーヌ・ヴェイユにおける労働概念の形成」、『宗教学研究室紀要』vol. 15、京都大学文学研究科宗教学研究室、23～47 頁	2018 年 12 月
論文（単）	「シモーヌ・ヴェイユとフランス反省哲学—「ラニョーとアランの知覚の分析」に回帰するヴェイユ—」、『フランス哲学思想研究』、日仏哲学会、131～142 頁	2019 年 11 月
論文（単）	「アランの情念論の二つの源泉——デカルトの情念論とラニョーの反省哲学」、『宗教学研究室紀要』vol. 16、京都大学文学研究科宗教学研究室、22～39 頁	2019 年 12 月
論文（単）	「シモーヌ・ヴェイユの哲学—フランス反省哲学の発展的展開としてのヴェイユ思想—」（博士論文）京都大学大学院文学研究科	2022 年 3 月
その他（共）	「授業実践と自己分析を核とする自主運営型プレFDプログラムの開発」、『日本教育学会研究報告集』、2023 巻 3 号 （共著：小林敬、藤貫裕、田口真奈）	2023 年 10 月
口頭発表（単）	「シモーヌ・ヴェイユにおける宗教的諸言説の位置付け：後期ヴェイユ思想の受容のされ方に対する一提言」、宗教哲学会 第十二回学術大会（京都大学・オンライン）	2020 年 9 月
口頭発表（単）	「宗教哲学と自己変容的知の可能性」（パネル「現代世界における宗教哲学の可能性」氣多雅子、古莊匡義、脇坂真弥、小林敬、伊原木大祐）日本宗教学会 第 82 回学術大会（東京外国語大学）	2023 年 9 月
口頭発表（単）	「コルモス研究会議 50 年の歩み—設立当時を振り返って—」、現代における宗教の役割（コルモス）研究会議第 70 回公開講演会「宗教間対話の未来—コルモス五十年を振り返って」（同志社大学）	2024 年 3 月

口頭発表（共）	「授業実践と自己分析を核とする自主運営型プレFDプログラムの開発」、日本教育工学会 研究会（オンライン） （共同発表：小林敬、藤貫裕、田口真奈）	2023年10月
口頭発表（共）	「教育と研究の結びつきを再考する場としてのプレFDプログラム—京都大学文学研究科「系ゼミナール」を授業実践の場とした自主運営型プレFD—」、第30回大学教育研究フォーラム、ポスター発表 （共同発表：藤貫裕、小林敬、田口真奈）	2024年3月
